

複雑ネットワーク科学第九回講義演習課題

工学系研究科航空宇宙工学専攻修士 1 年

37-196364 吉田弘祐

BMR 研とソーシャルデータについての感想

まず NEC にバイオメトリクス研究所というものがあるということを初めて知った。そもそもバイオメトリクス(biometrics)が生体認証ということすら知らなかったので、非常に興味深いトピックであるなというのが、最初の印象である。そして、ソーシャルデータ上の人の行動や趣味嗜好を分析することから生体認証情報を取り出しているということを聞いて、バイオメトリクスとソーシャルデータが繋がった。ソーシャルデータから情報を抜き出す手段として、講義で主に扱ったネットワーク分析とテキスト・コンテキスト分析があるということを学んだ。

アカウント集約技術についての感想

まず、60%のユーザーが複数のソーシャルメディアを使い分けているということを聞いて始めは驚きを感じたが、実際私も 3 つのソーシャルメディアにアカウントを持っているので若者の間では当然であると思う。

友人の居住地に基づくアカウントの集約手法は非常に興味深い手法であると感じた。本人の情報ではなく、友人の居住地をネットワーク分類したほうが精度があがるというのも非常に興味深いし、人の友人関係は予測手法を立てられるくらいにモデル化できるほど変化のないものであるということに、いわれもない情けなさを感じざるを得なかった。

ソーシャルメディアとプライバシーについての感想

これは、データが莫大な価値を生む現在のデータ社会において避けて通れないトピックである。Google や Facebook など最大手ソーシャルメディアにおいてもデータ漏洩の問題が発生する中で、NEC は具体的にどのような対策を施しているのかというのは重要なことである。「NEC グループと AI と人権に関するポリシー」を策定し、各国・地域の関連法令等の遵守を徹底しているらしいが、具体的にどのようにして個人情報の扱いに注意を払っているかなども講義で取り扱ってほしかった。